

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	危機管理室	事業No.	72
事務事業名		災害見舞金・弔慰金等支給事業	会計	一般会計	
			事業区分	経常	実施区分 継続
			開始	S45	終了
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画				
	法令・例規等			飯田市災害見舞金等支給条例（昭和45年条例第39号）	
事業目的	対象	火災・自然災害等の被災市民			
	意図	見舞い、弔意			

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	日本赤十字社長野県支部飯田市地区や関係機関と協力し、火災等による被災状況を的確に把握するとともに、被災された市民の生活状況等を考慮し、速やかに見舞金等の支給を行いました。 見舞金 21件 弔慰金 4件		見舞金					960			
			弔慰金					5,600			
			その他の経費			0					
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	見舞金等支給	件	18	5	18	12	18	14	18	25	
2年度決算(千円)	予算額	6,560	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	6,560	(県) 災害弔慰金等支給事業補助金 (3/4)								
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	3,750								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源	2,810										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	3	1	2	10	2	6,560	6,560	災害見舞金給付事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	令和2年7月豪雨災害の発生により、支給件数、金額ともに前年度より増加しました。
上記の課題解決のための有効策	災害情報の迅速な入手及び状況把握に努め、速やかに見舞金・弔慰金の支給に努める必要があります。
次年度に向けての取り組み	引き続き、災害情報の迅速な入手及び処理に努めるとともに、被害者の気持ちに寄り添い、速やかに見舞金・弔慰金の支給に努めます。